

試合番号 : 186		試合会場 : 墨田区総合体育館				観客数 : 570	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:18		試合時間 : 01:18		主審 : 正岡 卓	
副審 : 新田 浩幸		FC東京		VC長野トライデンツ		通算	
通算		6勝 12敗 ポイント: 21		25 第1セット 22		1勝 17敗 ポイント: 3	
監督コメント	コロナ禍の中、大会が無事開催できた事に感謝しております。ファン、サポーターの皆様の後押しを受けて、ホームで連勝することができました。今週はそれぞれが役割をしっかりと果たしてくれたことで、良い形で勝利出来たと感じます。来週以降も厳しい戦いが続きますが、引き続き応援よろしくお願いたします。		3	25 第2セット 16		0	このコロナ禍の中、応援してくださるファンの皆様と大会の開催にご協力をいただいている方々に厚く御礼申し上げます。昨日の試合の課題を確認し本日の試合に臨みましたが、ホームのFC東京に勢いがありそれを押さえ出す事が出来ず、悔しい敗戦となりました。昨日・今日の2日間でいいプレーも数多くありましたが、来週の試合に向けてより多くのいいプレーを出せる様に準備して、来週の試合に臨みたいと思います。本日は応援ありがとうございます。
				25 第3セット 16			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							
2週連続となるホームゲームで連勝したいFC東京と、2勝目を上げ勢いをつけたいVC長野トライデンツの対戦。第1セット序盤、FC東京は、谷口を中心に粘り強くボールを扱い、柳町やクヴァーレン、栗山の攻撃、佐藤のサービスエースなどで点を重ねる。対するVC長野は、相手の攻撃を徹底的にブロックしてチャンスを作り、リヴァンや三輪が攻撃を決めていく。中盤、矢貫、リヴァンのサービスエースを皮切りに波に乗るVC長野に対し、FC東京はサイドからの攻撃で応戦し、一進一退の攻防となる。終盤、VC長野は、池田(幸)の攻撃、矢貫のブロックなどで追いかけるが、FC東京は、佐藤の攻撃やクヴァーレンのブロックなどで点差を広げ、最後は柳町が攻撃を決め、セットを先取る。第2セット、VC長野は、藤中や池田(幸)のレシーブから山岸が冷静に攻撃を組み立て、序盤はリードする。対するFC東京は、栗山やクヴァーレンがブロックを決めて順位に立つと、中盤以降は黒田や武藤が攻撃を決め、VC長野を突き放す。なんとか追いつきたいVC長野はリヴァンにボールを集めるが、逆にFC東京のブロックに捕まってしまふ。その後も選手交代で打開しようとするVC長野を寄せ付けるとなく、最後は近江が攻撃を決め、FC東京がセットを連取る。第3セット、FC東京は小田嶋がサーブで攻め、コート内で司令塔として存在感を示す手原が攻撃陣を操り、序盤からリードする。後がないVC長野は、池田(幸)やリヴァンが攻撃を決め応戦するが、FC東京の勢いを止めることが出来ない。中盤以降も、VC長野は伊藤や池田(幸)が攻撃を決め奮起するが、最後はクヴァーレンが攻撃を決めて、FC東京がこのセットも取り、ストレートで勝利した。「Never Give UP 東京」の言葉通り、全員で粘り強く戦い、掘込んだ勝利だった。							
試合番号 : 187		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 750	
開始時間 : 17:05		終了時間 : 19:05		試合時間 : 02:00		主審 : 城 智人	
副審 : 村中 伸		ジェイテクトSTINGS		東レアローズ		通算	
通算		9勝 9敗 ポイント: 27		19 第1セット 25		13勝 5敗 ポイント: 41	
監督コメント	昨日の試合に比べ、さらにステップアップができたと思います。来週に向け準備し、より良いプレーが展開できるように頑張ります。いつも応援、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いたします。		3	25 第2セット 22		1	このコロナ禍の中、2日間たくさんのご声援、ありがとうございます。今日の試合では我々の武器であるサーブが走らず、逆にジェイテクトのサーブに崩されてしまいました。来週以降のゲームに向けて、しっかりと修正していきたいと思ひます。これで前半戦が終わりましたが、ここからが本当の戦いになると思ひます。もう一段、レベルを上げられるように取り組んで参ります。本日はたくさんのお声援、ありがとうございます。
				25 第3セット 20			
				25 第4セット 22			
				第5セット			
要約レポート							
上位進出に向けて連敗を止めたいジェイテクトSTINGSと首位を走る東レアローズの一戦。第1セット、ジェイテクトはサーブレシーブをしっかりと返し、積極的にミドルブロッカーを使う組み立てで、福山、村山の攻撃が鋭く決まり中盤までリードする。一方東レは、手塚、富田、パダルがハイセットを決め切り徐々に追いついていくと、15-15でパダルがサービスエースを決めて逆転し、終盤には高橋のブロック得点が2本出て東レが先取した。第2セット、中盤まで一進一退の攻防となったが、ジェイテクトは途中出場の都築が攻撃、ブロックで3得点とチームに勢いをつける活躍をみせると、宮浦、フェリペも攻撃で得点を重ね、このセットを奪取し1-1とした。第3セット、ジェイテクトの宮浦が得点を量産する展開となる。それに至るまでのつなぎの部分でも、本間、久保山に加え宮浦自身も丁寧なプレーで得点につなげ、最後は袴谷のサービスエースが決まりセットを連取した。第4セット、東レは途中出場の小澤が得点を重ねるも、終始ジェイテクトがリードする。東レは17-22からパダルのノータッチエースや攻撃等で4連続得点し猛追したが、最後は宮浦の攻撃が決まり、ジェイテクトがホームゲームで、2022年の初勝利を飾った。両チームともにブロックアウトを狙い、真つ勝負する場面が多くみられた熱戦だった。							
試合番号 : 189		試合会場 : 堺市金岡公園体育館				観客数 : 716	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:23		試合時間 : 01:23		主審 : 千代延 靖夫	
副審 : 森口 豊		堺ブレイザーズ		サントリーサンバーズ		通算	
通算		13勝 5敗 ポイント: 38		17 第1セット 25		13勝 5敗 ポイント: 34	
監督コメント	本日もサントリーサンバーズのハードサーブに対応しきれず、悔しい敗戦となりました。ここで止まず、これより先の試合と向き合ってまいります。ホームゲームの2戦、皆様の熱い応援、誠にありがとうございました。		0	23 第2セット 25		3	本日もサントリーサンバーズへ沢山のご声援ありがとうございます。先週の敗戦で出た課題をすぐに修正することのできる選手をまずは讃えたいと思ひます。一人ひとりが自分の役割を全うし、全力を出し切る。簡単な様で難しい事を日々行っていて感謝しかありません。堺ブレイザーズも現在上位チームであり、間違いない素晴らしいプレーを展開するチームです。今後上位チームの入れ替わりが激しくなることが予想されますが、我々サントリーは日々”PLAY HARD”を実践し、良い方向へ変化することを恐れないチームでありたいと思ひます。これからも日々変化し成長していくサントリーを宜しくお願いします。2日間アウェーでありながら素晴らしい環境で戦うことができました。ありがとうございます。
				18 第3セット 25			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							
昨日と同じく堺ブレイザーズがサントリーサンバーズをホームに迎えての一戦となった。第1セット、スタートは堺がリードするも、サントリーは藤中のバックアタックから5連続ポイントを取って逆転すると、小野の連続ブロックポイントで点差を広げ、最後は柳田の攻撃が3本決まり、セットを先取した。第2セット、中盤まで一進一退の攻防が続くが、サントリーはムセルスキーにボールを集めてリードする。一方、堺は小池を入れてレシーブを強化し、1点差まで追いつくが、ムセルスキーの強烈なアタックを拾うことが出来ず、このセットもサントリーが奪った。第3セット、何となくでもセットを奪いたい堺は、序盤でリードされると、樋口に代えて鶴野を投入して応戦するが、サントリーの勢いは止まらず、そのまま連取し、サントリーが3対0で勝利した。							
試合番号 : 190		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,149	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:20		試合時間 : 01:20		主審 : 國頭 亮太	
副審 : 林 淳一		パナソニックパンサーズ		大分三好ヴァイセアドラー		通算	
通算		11勝 7敗 ポイント: 35		25 第1セット 18		4勝 14敗 ポイント: 11	
監督コメント	今日はすべてにおいて私たちが上回っていたと思ひます。全セットにおいて試合をコントロールした選手達を誇りに思ひます。今日も応援ありがとうございました。		3	25 第2セット 21		0	2日間応援ありがとうございます。また、関係者の皆様にもとても感謝しています。自分達のミスでリズムを崩してしまい、パナソニックのサーブとブロックの戦略に苦戦しました。次週のホームゲームに向け自分達の課題を明確にし、しっかりとした準備をしていきたいと思ひます。今後とも応援よろしくお願いたします。
				25 第3セット 13			
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							
パナソニックパンサーズは、大分三好ヴァイセアドラーを招いての2日目のホームゲーム。第1セット序盤、両チームともリードを許さないが、パナソニックは清水のサービスエース、大塚の攻撃で連続得点を重ね突き放しにかかると、昨日の勝利で勢いに乗りたい大分三好も、2度のチャレンジで勝利への執念を見せるが、いずれも判定は覆らずパナソニックの勢いに拍車がかかり、そのままこのセットを取る。第2セット、パナソニックは大塚、小宮の攻撃、対する大分三好は、山田の攻撃で得点し終盤まで試合はもつれ込むが、小宮の攻撃が決まり、パナソニックがこのセットも連取。第3セット、パナソニックは、大塚、小宮の攻撃で好スタートを切るも、仲本の攻撃、山内のサービスエースで大分三好の追撃を許さない。最後は清水のブロックポイントで試合に勝利し、昨日のフルセットの激闘を落とした悔しさを請らすかのような鮮やかな勝利でホームゲームを飾った。							